

UNIT 4 野球に見る日米文化の違い

解答

1 (1) c (2) d (4) b (5) a

2 全訳下線部 (3) 参照。

3 d

CHECK 1. 「～する傾向がある」 2. so-cí-e-ty 5. [əpróut] 8. 「だが一方」 17. [imprú:v]
18. 「～に関心がある」 24. con-tról 27. dis-a-grée

解説

- 1 (1) の前後とも日米選手の練習時間の違いが述べられているので、追加を表す語 **Moreover** 「さらに」を選ぶ。 **Thus** 「従って」
- (2) 調和や忍耐はどうでもよく、勝つことが一番だ、と前言を打ち消して代わりに選択する事柄を述べる語 **Instead** 「その代わりに」を選ぶ。 **Furthermore** 「さらに」、 **Nevertheless** 「それにもかかわらず」、 **In short** 「つまり」
- (4) 前後の **they** はすべて **the players** を指す。選手が誰に指示されるのかを考える。
- (5) アメリカでは選手が指示を無視しても、チームが勝てば、その選手はどうされるか。
- 2 **As long as SV** 「～する限り、～しさえすれば」、

語句・構文

1. 1 **The sports (which) people play** 「人々が行うスポーツ」
1. 2 **the way these sports are played** 「これらのスポーツが行われる方法」 **the way** の後に **in which** を補って考える。
1. 6 **just = only**
1. 6 **by -ing** 「～することによって」
1. 8 **wear** 「～を身につけている」衣類に限らず身につけるものすべてを目的語にとる。
1. 10 **when** は **month** を先行詞とする関係副詞。

全訳

日米で行われるスポーツはとてもよく似ている傾向があります。しかし、各々の社会でこれらのスポーツが行われる方法は両方の文化を反映している違いを表しています。

日米のプロ野球のチームは同じルールで試合をしますが、試合の多くの点で取り組み方が異なります。選手や試合を見るだけで違いはわかります。日本の選手は普通、あごひげや口ひげをはやらず、きちんとした髪型をしています。一方、アメリカの選手はいろいろな髪型をしています。日本の選手はアメリカの選手よりもはるかによく練習する傾向があります。日本の選手が練習をしない月は12月だけですが、アメリカの選手はシーズンオフには3、4か月の休暇を取ります。さらに試合の日には、日本の選手は1日のほとんどを練習に費やしますが、アメリカの選手はたいてい試合の始まるほんの1、2時間前に到着します。

これらの野球への取り組みは重要な文化的違いを表しています。日本の野球では練習時間は耐えることや努力を示す方法と見なされています。それはプレーを上達させるばかりでなく、チームの調和を築きます。しかしアメリカの選手は調和とか忍耐を気にかけません。その代わりに一番大切なのは勝つことです。試合のある日、選手は軽めの練習しかしません。エネルギーをとっておく方がいいし、その方が勝つ機会が多いと考えているから

matter は動詞で「重要である」。

- 3 a. 「アメリカと日本のプロ野球チームは異なったルールでプレーしている。」 *ll.* 4-5 に **the same rules** とあり、不一致。
- b. 「日本の選手はあごひげや口ひげをはやすと罰せられる。」罰せられるとは書かれていない。
- c. 「12月はアメリカの選手が唯一練習しない月だ。」 *l.* 10 に **Japanese players** とあり、不一致。
- d. 「スポーツが行われる方法の違いは、それぞれの文化を反映している。」 *ll.* 2-3 の **However, the way ... both cultures.** に一致。
- e. 「日本では監督は選手を掌握できない。」 *ll.* 24-25 の **In Japan, ... in many situations.** に不一致。

1. 16 **see A as B** 「AをBと見なす」

1. 20 **..., which** は関係代名詞の非制限用法で、先行詞は **to save their energy**。

1. 24 **have control over** 「～を管理[掌握]する」

1. 26 **be free to do** 「自由に～することができる」

1. 26 **as they like** 「彼らの好きなように」 **as SV** は「SがVするように」。

1. 28 **help the team win** 「チームが勝つのに役立つ」 **help O do** 「Oが～するのに役立つ」

です。(3) チームが勝ちさえすれば、調和と忍耐は重要なことではありません。

野球におけるもう1つの違いは監督と選手の関係です。日本では監督は完全に選手を掌握しており、多くの状況で選手に何をすべきか命令します。アメリカでは選手は自分の好きなようにより自由に試合をすることができます。監督に何をすべきか命令されても、ときどき意見が合わず、何か違ったことをします。もし選手の決断が正しく、そのことがチームの勝利に役立ったなら、選手はたいてい許されます。

チャンク訳

- The sports / people play / in America and Japan / tend to be quite similar.
スポーツは / 人々が行う / アメリカと日本で / とてもよく似ている傾向がある
- However, / the way / these sports are played / in each society / shows differences
しかし / 方法は / これらのスポーツが行われる / それぞれの社会で / 違いを示している
- / that reflect both cultures.
両方の文化を反映する
- Though professional baseball teams / in America and Japan / play / by the same rules,
プロ野球チームは / アメリカと日本の / プレーするが / 同じルールで
- / many aspects of the game are approached differently.
試合の多くの局面が違った方法で取り組まれる
- A difference can be seen / just by looking at the players and the game.
違いは見て取れる / 選手や試合を見るだけで
- Japanese players usually have a neat hairstyle / without a beard or moustache,
日本の選手は普通きちんとした髪形をしている / あごひげや口ひげもなく
- / while American players wear their hair / in various ways.
一方、アメリカの選手は髪形をしている / さまざまな
- Japanese players tend to practice much more / than American players. December is the only month
日本の選手ははるかに多く練習する傾向がある / アメリカの選手より / 12月は唯一の月だ
- / when Japanese players don't practice, / while American players have three or four months of holiday
日本の選手が練習をしない / 一方、アメリカの選手は3、4か月休暇がある
- / during the off-season.
オフシーズンの中に
- Moreover, / on game days, / Japanese players spend most of the day practicing,
さらに / 試合の日には / 日本人選手は1日の大半を練習をして過ごす
- / while American players usually arrive / only one or two hours before the start of the game.
一方、アメリカの選手は普通到着する / 試合が始まるほんの1、2時間前に
- These approaches / to baseball / show important cultural differences.
これらの取り組み方は / 野球に対する / 重要な文化的違いを示している
- In Japanese baseball, / practice time is seen / as a way / to persevere and show effort.
日本の野球では / 練習時間は見なされる / 方法と / 根性をつけ努力を示すための
- It not only improves performance, / but builds group harmony.
それはプレーを上達させるだけでなく / 集団の和を形成する
- However, / American players don't care about harmony or perseverance.
しかし / アメリカの選手は和や根性を気にかけない
- Instead, / the most important thing is winning. Players have only light practice / on game days
代わりに / 最も大切なことは勝つことだ / 選手は軽い練習しかしない / 試合の日に
- / because they think / it is better / to save their energy,
なぜなら彼らは考える / ～はより良いと / エネルギーをとっておくことは
- / which will give them a better chance / to win.
そしてそのことが彼らにより大きいチャンスを与えるだろう / 勝つという
- As long as the team wins, / harmony and perseverance don't matter.
チームが勝てば / 和や根性は重要ではない

Another difference / in baseball / involves the relationship
 もう1つの違いは / 野球における / 関係を含んでいる
 / between the manager and the players.
 監督と選手の

In Japan, / the manager has complete control / over the players
 日本では / 監督が完全に掌握している / 選手を
 / and tells them what to do / in many situations.
 そして選手に何をすべきか命じる / 多くの状況で

In America, / the players are freer to play the game / as they like,
 アメリカでは / 選手はより自由に試合をする / 彼らがしたいように
 / and even when they are told what to do / by the manager,
 そして何をすべきか命じられたときですら / 監督に
 / they sometimes disagree / and do something different. If the player's decision is correct
 彼らはときどき従わない / そして違うことをする / もし選手の判断が正しければ
 / and it helps the team win, / the player is usually forgiven.
 そしてそれがチームの勝利に役立つなら / 選手は普通許される

受動態

解答

1. b 2. b 3. d 4. a 5. a 6. a 7. b 8. d 9. c 10. b
 2. 1. at [by] 2. with 3. about 4. with 5. with [in]
 3. 1. be finished 2. Is, spoken 3. being carried 4. It is 5. kept open 6. care of by
 7. been washed 8. had [got], stolen 9. is believed
 4. 1. (I was caught in a shower on) my way home.
 2. (Ken is looked up to as) a captain.
 3. (The plan should be discussed seriously [be seriously discussed]).
 4. (The students were made to go) against their will.
 5. (The boy got bored with the video game) quickly.

解説

1. 「多くの人がその事故で死んだ。」
 事故の場合「死んだ」は英語では「殺された」と受身で表す。一人で勝手に死んだのではなく、誰か[何か]によって殺されたと考える。
 2. 「すべてのバスは出発する前、点検されるだろう。」
 「点検する」のは人間で、バスは「点検される」と受身になる。助動詞の後はbe動詞は変化せず、「will [can, must] be +過去分詞」の形となる。
 3. 「その箱は100年間開けられていない。」
 「開ける」のは人間で、箱は「開けられる」と受身になる。現在完了の受身形は「have [has] been +過去分詞」の形となる。
 4. 「私は試合で右腕を折った。」
 「have O +過去分詞」には、①「Oを～される」、②「Oを～してもらう」の意味がある。
 5. 「兄[弟]は髪をカットしてもらう必要があります。」
 get O +過去分詞 = have O +過去分詞
 6. 「マイクは10年間彼女と結婚している。」
 be married to ~ 「～と結婚している」 cf. get married to ~ 「～と結婚する」
 7. 「あなたの名前はすべての生徒に知られている。」
 be known to ~ 「～に知られている」
 8. 「私は英語で外国人に話しかけられたいくない。」

speak to ~ 「～に話しかける」 A foreigner speaks to me. を受身にすると I am spoken to by a foreigner. となる。群動詞の受身は群動詞(この場合は speak to) をひとかたまりと考える。

9. 「その少年は部屋から出て行くのを見られた。」
 see O do を受身にすると、原形不定詞 do は to do になる。
 10. 「日本人はグループ行動が好きだと言われている。」
 be said to do 「～だと言われている」 = It is said that SV

2. 1. 「彼らは私の突然の出現に驚いた。」
 be surprised at [by] ~ 「～に驚いている」
 2. 「彼女の目は涙でいっぱいでした。」
 be filled with ~ 「～でいっぱいだ」
 3. 「私は彼の健康を心配している。」
 be worried about ~ 「～を心配している」
 4. 「私は英語の成績に満足している。」
 be satisfied with ~ 「～に満足している」
 5. 「道路は雪でおおわれていた。」
 be covered with [in] ~ 「～でおおわれている」
 3. 1. 「その仕事は明日までに終えなければなりません。」
 助動詞のある受動態は「助動詞 + be +過去分詞」の形となる。
 2. 「スペイン語はメキシコで話されていますか。」
 受動態の疑問文は、do / does / did が不要になり、be動詞で始まることに注意する。
 3. 「昆虫が多くのアリによって運ばれていた。」
 進行形の受動態は「be being +過去分詞」の形となる。
 4. 「彼は有名な芸術家だと言われている。」
 They say that he is a famous artist. →目的語である that 以下を主語にする。→ That he is a famous artist is said (by them). → That 以下を形式主語 It で受ける。→ It is said that he is a famous artist.
 5. 「ドアは開けられたままだった。」
 SVOC の受動態は目的語だけを主語に出し、補語はそのまま残す。どれが目的語で、どれが補語かを見極めることが大切である。
 6. 「私の猫はその老婦人に世話をされた。」
 群動詞の受動態は群動詞(この場合は take care of) をひとかたまりに考える。
 7. 「あなたのシャツはたった今、洗濯されたところです。」
 現在完了の受動態は「have [has] been +過去分詞」の形となる。
 8. 「私は車で自転車を盗まれた。」
 have [get] O +過去分詞 「Oを～される、してもらう」
 9. 「この話は本当だと信じられている。」
 It is believed that SV = S is believed to do 「～だと信じられている」
 4. 1. 「わか雨に会う」 be caught in a shower, 「～(へ行く)途中」 on one's way (to) ~
 2. 「尊敬する」は look up to. 群動詞の受動態は群動詞(この場合は look up to) をひとかたまりに考える。
 3. 助動詞のある受動態は「助動詞 + be +過去分詞」となる。seriously の位置は discussed の前でも後でもよい。
 4. 使役動詞 make 「～させる」の使い方は make O do であるが、これを受動態にすると、原形不定詞 do は to do になる。
 5. 「be +過去分詞」と「get +過去分詞」の受動態の違いは、「be +過去分詞」には、①「～される」(動作)、②「～されている」(状態)と2通りの意味があるが、「get +過去分詞」には「～される」(動作)の意味しかないという点である。